

事業所名 放課後等デイサービス じゅにすぼプラス

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

16日

法人(事業所)理念		子ども一人ひとりの個性を大切に、運動やさまざまな活動を楽しみながら成功体験を重ね、心を身体の成長を支援します。「できなくても大丈夫、やってみよう」の気持ちを大切に、自分で考え行動する力や社会性を高める支援をします。							
支援方針		運動を中心としたとび箱・鉄棒・エアートランポリン・ビジョントレーニングなどで身体を動かし、最後は個々に合わせた机上課題に取り組み、集中力・学習基礎力を支援し、振り返りを通して自分の気持ちや行動を整理する力を支援します。							
営業時間		8時	45分から	14時	45分まで	送迎実施の有無	あり	なし	要相談
		8時	45分から	17時	30分まで				
		10時	30分から	16時	30分まで				
支援内容									
本人支援	健康・生活	挨拶・身支度・活動前後の準備や片づけ・時間を意識した取り組みで生活習慣を支援します。子どもの様子を見ながら水分補給や衣類の調整の声をかけをする中で自分で体温調整・体調管理ができるよう支援する。							
	運動・感覚	鉄棒・とび箱・エアートランポリン・ビジョントレーニング・マット運動・なわとび・サーキットあそびを通して体幹やバランス・身体の使い方をサポートし、「やってみよう」という気持ちを大切に、子どもが挑戦できるよう支援します。							
	認知・行動	活動手順やルールの理解を支援し、運動課題や机上課題を通して集中力や認知力を高めるサポートを行います。振り返りの時間を絵や文章にし、自分の行動や気持ちを整理できるよう支援します。							
	言語コミュニケーション	始まりの挨拶や終わりの挨拶や返事、職員や友達とのやり取り、活動の振り返りを通して気持ちや考えを言葉で表現する力を伸ばす支援を行います。							
	人間関係社会性	小集団での活動や運動活動を通し、協力する力や順番・ルールの理解をサポートします。挑戦したい気持ちや成功体験を共有し、自己肯定感や社会性を高める支援を行います。							
家族支援		活動の様子や成長の報告を写真・動画・支援記録で共有 子どもの頑張り屋課題について相談に応じサポート			移行支援		地域の学校や施設・関係機関と連携し、スムーズな移行をサポート		
地域支援・地域連携		地域の学校・施設・関係機関との連携			職員の質の向上		●情報共有 ●定期的な研修や勉強会の実施		
主な行事等		日々の運動療育を活動の中心に行いながら、季節の行事やイベントがある場合は遊びや活動の中に取り入れる							